

2019（令和元）年度事業報告

☆事業計画は、定款第4条の7つの事業の枠組みで立案

1. 教育等看護の質の向上に関する事業
2. 看護研究学会の開催等、学術研究の振興に関する事業
3. 看護業務・看護制度の改善等に関する事業
4. 看護職を取り巻く環境の改善及び福祉の向上による県民の健康及び福祉の増進に関する事業
5. 在宅看護の推進等の取り組みを通して公衆衛生の向上を図る事業
6. 施設の貸与に関する事業
7. その他、本会の目的を達成するために必要な事業

※山形県よりの事業はすべて「山形県委託」と記載した。
 ※重点事業はゴシック体で、事業担当部署には下線を記載した。
 ※事業内容（項目）・目標は太字表記

1. 教育等看護の質の向上に関する事業

事業内容	事業実施報告
1) 看護職の継続教育に関する事業【重・3】 (1) 継続教育の充実・強化 ①2019年度教育計画の実施・評価 ②2019年度教育計画の策定・広報 ③看護師のクリニカルラダー（日本看護協会版）活用の推進 ④行政との連携による看護師等の資質向上 ⑤その他	教育委員会・各委員会・教育研修課・事業課・訪問看護ステーション (①～③は同じ) a 教育計画に基づいた研修運営（すでに配布済みの冊子参照） b 研修実施と評価 ア 新たな社会ニーズに対応する能力支援のための研修 ・看護実践能力を支援する研修 22コース中22コース終了 ・自己教育・研究能力を支援する研修 22コース中22コース終了 イ 診療報酬に関連した研修 7コース中5コース終了（2コースは中止） ウ JNAラダー活用のための研修 3コース中3コース終了 エ 看護管理者・これからの看護管理を担う人々の力量形成のための研修 10コース中10コース終了 オ 施設内教育充実に向けた研修 6コース中6コース終了 カ 認定看護管理者育成のための研修 3コース中3コース終了 キ 他団体との共催研修 3コース中3コース終了 ク その他（看護管理者懇談会・新人、准看護師等の交流会） 3コース中3コース終了 c 総会要綱内研修実施録の掲載準備 研修開催後随時入力中 a 教育プログラム開発能力向上に係る予算化（教育研究開発費） b 都道府県看護協会教育担当者会議への出席 7月31日 2名 c 教育ニーズ調査と情報収集 d 研修企画の調整 e 教育計画に関する懇談会の開催 12月20日開催 参加者66名 f 教育計画の印刷・会員への発送 g ホームページ、広報誌への掲載 a 看護師のクリニカルラダー（日本看護協会版）の周知・普及 b 日協版ラダーの導入と活用による院内教育体制の整備の推進 a 山形県委託研修の実施 26コース中26コース終了 a キャリナースへの登録推進と受講履歴の管理 研修参加者にリーフレット配布と口頭説明を実施 b ポートフォリオの普及推進 同上
(2) 専門看護師、認定看護師、認定看護管理者の活動支援 ①継続教育における講師として登用 ②認定看護管理者を委員や演習支援者として活用 ③専門看護師、認定看護師の委員としての活用	教育研修課 (①～④は同じ) a 県内の専門看護師 1名、認定看護師 35名 認定看護管理者 22名 a 認定看護管理者教育課程教育運営委員 7名 ファースト・セカンドレベルの演習支援者 10名 職能委員会及び常任委員会 12名 職能委員会及び常任委員会 1名
(3) 小規模施設で働く看護職への学習支援 ①研修の開催と参加者の情報交換の場づくり	教育研修課 a 研修3コース開催（再掲） 3コース終了 b 介護・福祉・在宅領域で働く看護職への情報提供
(4) 委員会企画の研修のスムーズな運営 ①委員会・教育研修課・事業課との連携	各委員会・教育研修課・事業課 a 委員会の研修 24コースの企画運営
(5) 介護・福祉・在宅領域で働く看護職の研修充実 ①委員会、訪問看護ステーション、事務局連携による研修企画	看護師職能Ⅱ・在宅ケア推進委員会・訪問看護ステーション 看護師職能Ⅱ・在宅ケア推進委員会・訪問看護ステーション ・教育研修課・事業課

	<ul style="list-style-type: none"> a 訪問看護ステーション管理者研修 5月12日参加者36名 11月10日参加者26名 b 看護師職能Ⅱ委員会 9月28日参加者87名 11月7日参加者27名 c 在宅ケア推進委員会 1コース d eラーニング活用訪問看護師養成研修と公開講座 4コース（山形県委託事業）
(6) 支部と連携した研修運営 ①各地区での研修開催	<u>教育研修課①～②は同じ</u> <ul style="list-style-type: none"> a 庄内、最上、置賜地区での開催
(7) 非会員への学習支援 ①2019年度研修の公開 （非会員の受講受け入れ）	<u>教育研修課</u> <ul style="list-style-type: none"> a 県内全保健・医療・福祉施設への教育計画送付 b 県内診療所への教育計画送付 c 介護福祉系の会議での研修のPR d ホームページ掲載によるPR
(8) 研修環境の整備・充実 ①7日以上長期研修時の開館時間の延長 ②AV機器・パソコン等の定期点検と整備 ③訪問看護会館研修室の整備と活用	<u>教育研修課（①～②は同じ）</u> <ul style="list-style-type: none"> a 開館時間 8時30分～18時（1時間延長） a 長期研修前のチェック、研修前の準備 b 最新の機器対応に向けての検討 <u>訪問看護ステーション</u> <ul style="list-style-type: none"> a 定期チェックと研修前の点検・準備
2) 施設内教育充実を支援する事業【重・3】 (1) 医療機関院内教育充実への支援 ①教育担当者・責任者研修の充実	<u>教育研修課（①～③は同じ）</u> <ul style="list-style-type: none"> a 「継続教育の基準」活用ガイドラインの普及 b 日本看護協会ラダー活用による院内教育体制の整備の推進 c 「オンデマンド」研修活用の推進
(2) 新人看護職の臨床研修体制の強化 ①新人研修の開催による支援 ②新人育成に携わる担当者研修	<u>教育委員会・教育研修課（①～②は同じ）</u> <ul style="list-style-type: none"> a 新人研修 3コース開催 a 実地指導者研修2コース b 研修責任者・教育担当者研修
3) 認定看護管理者教育に関する事業【重・3】 (1) 認定看護管理者教育の推進 ①専任教員を中心とした認定看護管理者教育の実施・評価 ②セカンド・サード修了者の実践報告の機会提供 ③2019年度研修企画 ④認定看護管理者教育課程教育運営委員会のスムーズな運営 ⑤日本看護協会認定部との連携	<u>専任教員・教育研修課（①～③が同じ）</u> <ul style="list-style-type: none"> a ファーストレベルの運営 21日間：定員 80名 受講生86名（1名科目受講生）修了 b セカンドレベルの運営 33日間：定員 30名 受講生31名修了 c ファースト・セカンドレベルの公開講座の運営 d 演習の企画と認定看護管理者の活用による運営 e 受講者への学習支援 f 講師等との連絡調整と講義のサポート g 研修運営の評価 a 認定看護管理者教育課程教育運営委員会企画・運営による看護管理実践報告会の開催 10月5日（土）17題の演題発表 a ファースト・セカンドレベルの開催要綱検討（カリキュラム改正に伴う変更） <u>認定看護管理者教育課程教育運営委員会</u> <ul style="list-style-type: none"> a 適正な受講者選考と受講者の修了審査 b 看護管理実践報告会の企画・運営 c 研修の企画・運営の支援 d 専任教員のサポート <u>教育研修課</u> <ul style="list-style-type: none"> a 認定看護管理者教育機関申請情報の入力手続き b 積極的な情報収集と専任教員の連携
(2) 看護管理者のスキルアップを支援 ①プログラムの一部を公開 ②セカンド・サードレベル教育課程修了者実践報告会の開催	<u>専任教員・教育研修課（①～②は同じ）</u> <ul style="list-style-type: none"> a ファーストレベルの公開講座 2コース 募集人数70人 参加者78名 b セカンドレベルの公開講座 2コース 募集人数50名 参加者74名 a セカンド・サードレベル修了者への実践報告募集（再掲） b 看護管理者への参加呼びかけ
4) 医療安全教育に関する事業 (1) 医療安全管理者養成研修の開催 ①医療安全管理者養成研修の実施・評価 ②2020年度研修企画	<u>教育研修課（①～②は同じ）</u> <ul style="list-style-type: none"> a 研修の運営 2019年8月29日～9月6日 7日間：受講修了49名 b 受講者の学習支援 c 研修運営の評価 a 開催要綱の検討

(2) 医療安全管理者のスキルアップの支援 ①医療安全管理者養成研修のプログラムの一部を公開	医療・看護安全対策委員会・教育研修課 (①～②は同じ) a 公開講座 1コース開催 参加者55名
(3) 医療安全推進活動 ①医療・看護安全対策委員会の活動の強化 ②日本看護協会との連携 ③関連団体との連携促進	医療・看護安全対策委員会・教育研修課 a 医療安全スキルアップ研修の企画・運営 b 事故防止・再発防止の啓発活動 c 「医療安全やまがたフォーラム」の運営協力 a 医療安全推進会議への出席 開催なし参加せず a 「禁煙支援研修」の開催 6月1日参加者52名 b 第13回日本禁煙学会共催団体として開催準備と運営へ協力 11月3～4日運営委員として 延べ31名 禁煙学会市民公開講座の運営 11月4日市民参加者206名 c 関連会議への参加と準備 全国禁煙学会準備委員会参加 山形県四師会市民講座準備会議を事務局として開催
5) 図書室運営に関する事業 (1) 図書・文献サービスの充実 ①図書室の充実 ②文献検索機能の向上	教育研修課 (①～②は同じ) a 図書・DVDの購入、広報、貸出し b 蔵書点検：不明図書・古書、DVD等の整理と処理 a パソコン・キャリアナースによる文献検索の普及 長期研修での文献検索法の活用ガイドを研修室に設置 b 蔵書原簿の更新 (長期研修前・蔵書点検時)

2. 看護研究学会の開催等、学術研究の振興に関する事業

事業内容	事業実施報告
1) 山形県看護研究学会に関する事業【重・3】 (1) 山形県看護研究学会の開催 ①学会の企画と運営 (2) 看護研究の推進 ①学会委員のスキルアップ ②看護研究支援の研修開催 ③日本看護協会との連携	学会委員会、教育研修課 a 12月7日(土)開催 参加者236名 b 学会委員会による実行委員会の開催 c 抄録選考の実施 学会委員会、教育研修課 (①～③は同じ) a 学会への参加 a 質的研究の研修 1コース b 看護研究基礎編研修 2コース (1コースは庄内開催) c 研究助言の実施 a 日本看護学会運営会議への出席 b 2020年度「在宅看護学術集会」(2020年11月5日(木)6日(金)開催準備)

3. 看護業務・看護制度の改善等に関する事業

事業内容	事業実施報告
1) 看護業務に関する事業【重・4】 (1) 職能委員会活動の活性化 ①日本看護協会職能委員会との連携 ②保健師職能委員会活動 ③助産師職能委員会活動	職能理事 (職能委員長) 職能理事 (職能委員長) a 日本看護協会通常総会への出席 6月6日 参加 (函館市) b 全国職能委員長会議への出席 8月21日 参加 c 地区別職能委員長会への出席 (秋田県) 10月11日看護職能I以外参加 d 調査活動への協力：各職能への調査依頼に協力 e 日本看護協会職能委員会の事業の推進のための情報発信と山形県看護協会職能委員会での取り組み 保健師職能委員会 a 保健師活動指針の普及・推進 8月29日 新人保健師交流会で説明 b 保健師の力量形成のための現任教育の充実 c 地域包括ケアシステムにおける保健師の役割発揮 9月5日 他職能との情報交換実施 d 保健師の力量形成のため現任教育体制の構築 ・6月21日 助産師との合同研修会の実施 参加者41名 ・9月7日 「保健師のための統計活用術」参加者47名 e 包括的母子保健推進における保健師の役割と地域連携 ・6月21日 助産師との合同研修会の実施 参加者22名 助産師職能委員会 a 助産実践能力習熟段階(クリニカルラダー)の普及推進 クリニカルラダーに関わる研修の実施 ・9月28日 ウイメンズヘルスケア研修 参加者16名 ・CLoCMiP [®] 認証制度申請・更新に関わる研修会は新型コロナ感染症予防のため中止

<p>④看護師職能委員会Ⅰ活動</p> <p>⑤看護師職能委員会Ⅱ活動</p> <p>⑥地域包括ケアシステム構築推進に向けた研修会</p> <p>⑦三職能4委員会に関する情報の発信</p>	<p>b 県内助産師のネットワーク作りと連携強化 ・6月21日 保健師との合同研修会の実施 参加者22名</p> <p>c 包括的な母子保健推進における助産師の役割発揮と地域との連携体制の周知と推進 ・山形県周産期セミオープンシステムに関連する情報の提供と共有の実施</p> <p>d 助産師出向支援導入事業の推進（山形県委託） ・鶴岡市立荘内病院と三井病院間での助産師の短期研修を双方向で実施 三井病院から鶴岡市立荘内病院へ 1月20日～24日 2月3日～7日 鶴岡市立荘内病院から三井病院へ 1月27日～31日 2月10日～14日</p> <p>e 院内助産・助産師外来の推進とアドバンス助産師の活用の推進 ・分娩取り扱い施設における産科混合病棟の現状について調査を実施</p> <p><u>看護師職能委員会Ⅰ</u></p> <p>a 病院看護師の在宅療養支援力と地域連携の強化</p> <p>b 日本看護協会の看護師のクリニカルリーダーの推進 ・平成30年度調査報告「JNAリーダー運用の現状と課題」の総会要綱への掲載及び山形県看護協会JNAリーダー研修会での情報発信</p> <p>c 勤務環境改善の推進 ・山形県医療職のWLB推進会議、WLBワークショップへの参加、情報共有 ・山形県医療職のWLB推進会議、WLBフォローアップワークショップへの参加、情報共有</p> <p>d 看護師職能Ⅱ及び在宅ケア推進委員会との連携強化 ・6月21日 看護師職能Ⅱとの合同研修会開催 参加者 271名 ・11月1日 看護師職能Ⅱ、在宅ケア推進委員会との合同委員会開催 参加者17名</p> <p><u>看護師職能委員会Ⅱ</u></p> <p>a 地域包括ケアの推進における多職種連携の強化 ・看護師職能Ⅰ、在宅ケア推進委員会との合同委員会開催 出席者 17名</p> <p>b 地域における看護職連携・高齢者施設団体との連携</p> <p>c 看護職能Ⅰ及び在宅ケア推進委員会との連携強化 ・6月21日 看護師職能Ⅰとの合同研修会開催 参加者 271名（再掲） ・11月1日 看護師職能Ⅰ、在宅ケア推進委員会との合同委員会開催 出席者17名（再掲）</p> <p>a 通常総会後の研修会開催 6月21日 ・保健師・助産師合同研修会 テーマ「子育て期における地域包括支援の連携を考える」開催 参加者 77名 ・看護師職能Ⅰ・Ⅱ合同研修会 テーマ「地域包括ケア時代の看取りを考える」開催 参加者 271名（再掲）</p> <p><u>三職能4委員会</u></p> <p>a 職能に関する情報収集と情報発信 ・広報誌への「職能だより」の掲載の実施</p> <p>b 山形県健康福祉部との業務推進懇談会への課題提起 ・各職能委員長が上記懇談会に出席し課題提起・情報発信に実施</p> <p>c 職能委員会間の情報交換 ・保健師職能・助産師職能委員会との合同研修会の開催と情報交換実施 ・看護師職能Ⅰ・Ⅱの合同研修会の開催と情報交換実施 ・看護師職能Ⅰ・Ⅱ・在宅ケア推進委員会との合同委員会開催と情報交換</p>
<p>2) 看護制度に関する事業 【重・3】</p> <p>(1) 准看護師への進学支援及び学習支援</p> <p>①奨学金制度の活用</p> <p>②准看護師への学習支援</p> <p>③准看護師からの進学相談対応</p>	<p><u>教育研修課、事業課・ナースセンター（①～③は同じ）</u></p> <p>a 広報誌やホームページ等での公募</p> <p>b 山形県看護協会の奨学金授与者の選考・公表 2名に授与</p> <p>c 日本看護協会の奨学金の活用推進</p> <p>a 「准看護師から看護師への道」を目指す方の学習支援 ・研修会・交流会の開催 庄内会場で1コース開催 参加者32名</p> <p>b 小規模施設で働く看護職や介護・福祉系施設で働く看護職を対象とした研修の開催 4コース開催 参加者延べ258名</p> <p>a 随時対応</p>

<p>(2) 看護職を目指す中・高校生、社会人への対応 ①看護職への道をPRする</p>	<p>教育研修課、事業課、ナースセンター a イベント時のパネル展示 b イベント時の進学相談 c フレッシュ説明会での教育機関による説明会の開催 令和元年7月27日実施 d ハローワークにおける進学相談 e 中学校・高等学校での出前講座 f ナースセンターにおける進路相談</p>
<p>(3) 日本看護協会との連携 ①全国准看護師問題担当役員会議への出席 ②日本看護協会通常総会への出席</p>	<p>全区理事、常任理事（①～③は同じ） a 制度改革に伴う情報収集と理事会及び准看護師への情報発信 a 制度に関する日本看護協会の動向を知り、准看護師への情報発信</p>
<p>(4) 看護職の教育制度見直しに関する情報発信 ①日本看護協会との連携</p>	<p>会長、常任理事 a 日本看護協会からの情報を受け、会員へ情報発信 b 看護研究学会で看護基礎教育のシンポジウム開催 12月7日開催 参加者236名 c 必要時、行政へ提言</p>
<p>(5) 特定行為の研修制度法制化の周知 ①日本看護協会との連携</p>	<p>会長、常任理事 a 支部研修での会長講話で取り上げる 最北支部：7月22日 山形支部：8月3日 置賜支部：8月24日 庄内支部：8月31日 b 看護管理者対象に特定行為研修修了者活用の研修開催 11月11日参加者26名 c 広報誌等での広報</p>

4. 看護職を取り巻く環境の改善及び福祉の向上による県民の健康及び福祉の増進に関する事業

事業内容	事業実施報告
<p>1) 看護職を取り巻く環境改善に関する事業【重・2】 (1) 看護職の離職防止及び看護職確保定着事業の推進 ①平成30年度看護職就業状況調査 ②潜在看護師等復職研修 ③働き続けられる職場づくりの推進 ④医療職のWLB推進ワークショップ参加施設への支援 ⑤看護師等職場説明会開催 (看護学生最終年対象)</p>	<p>事業課、ナースセンター（①～②は同じ） a 6月に調査を実施 ・就業状況と労働環境（68病院） b 調査結果を会議で公表 c 調査結果をHPで公表（2月） d データの活用 a 研修のPRと受講者拡大：復職研修受講者3名 ・ブランク期間が長い方に対するサポート（DVDの活用等） b 受入れ施設の確保・拡大 c 看護技術セミナーの開催 5回開催（山形・庄内地域開催） 5回開催37名参加 d ナースセンター登録者、ハローワーク相談者への情報提供 e 研修・セミナー運営の評価 勤務環境改善推進委員会、看護師職能委員会 I、事業課、ナースセンター（③～④は同じ） a 勤務環境改善推進委員会の活動推進 b 勤務環境改善（ワークショップ）の推進 ・医療機関への働きかけ ・介護・福祉・在宅領域の施設・事業所への働きかけ c 夜勤・交代制勤務に関するガイドラインの活用推進 d 短時間正職員制度や多様な勤務形態導入の推進 e 県内病院離職者実態調査の実施と結果の活用（4月実施） f 山形県医療勤務環境改善支援センターとの連携 a 参加施設（2日施設）への支援 ・勤務環境改善推進委員会による支援活動 山形ロイヤル病院8月30日、12月3日 天童温泉篠田病院9月9日、12月23日訪問 b 日本看護協会との連携 c 行政・労働局との連携 事業課、ナースセンター（⑤～⑦に同じ） a 4月27日（土）山形ビッグウイングで開催 参加施設45ブース（59病院）参加学生149名 b 山形方式・看護師等生涯サポートプログラムの紹介 c 訪問看護仕事紹介コーナーの設置 d 山形県ナースセンター就業相談コーナーの設置 e マスメディアを活用しての広報活動（Y T S、S A Y）</p>

<p>⑥看護学生フレッシュ説明会・看護学校等進学説明会開催 (看護学生1・2年、中学・高校生対象)</p>	<p>a 7月27日(土) 山形テルサで開催 参加施設44ブース(57病院)参加学生85名 中高校生・保護者・一般84名</p> <p>b 教育機関による進路説明会の開催 参加県内看護学校8校参加 中高校生・保護者・一般84名</p> <p>c 山形県ナースセンター就業相談コーナーの設置 ・県外へ進学している看護学生へのUターン 新潟県内の看護学校5校へ訪問 ・未就業者への相談支援</p> <p>d 訪問看護仕事紹介コーナーの設置</p> <p>e マスメディアを活用しての広報活動(YTS, SAY)</p>
<p>⑦日本看護協会、関係団体、行政との連携強化</p>	<p><u>看護師職能委員会I、教育研修課、事業課、ナースセンター</u></p> <p>a 都道府県労働問題担当者会議への出席</p> <p>b 「山形方式・看護師等生涯サポートプログラム」への参画</p> <p>c 県の修学資金の利用促進</p> <p>d 「もがみ看護師確保推進ネットワーク協議会」への参画 ・総会はコロナ感染対策のため中止。 ・幹事会 2回出席 ・もがみ情報ナースバンク専門部会 3回出席</p> <p>e 日本看護協会オンデマンド配信研修活用の推進</p> <p>f 日本看護協会の労働と看護の質向上のためのデータベース事業 D i N Q Lの活用推進</p> <p>g 健康福祉部との懇談会へ課題提起</p>
<p>(2) ナースセンター事業運営の強化 ①ナースセンター事業の充実</p>	<p><u>事業課、ナースセンター(①～②は同じ)</u></p> <p>a 求職・求人相談の充実</p> <p><u>事業課、ナースセンター(①～②は同じ)</u></p>
<p>②看護職員就業支援事業</p>	<p>a 求職・求人相談の充実 ・求人登録者数1803名 ・求職登録者数659名</p> <p>b 離職者のナースセンター届出制度の周知と代行登録の推進 ・届出登録者への情報提供と復職支援の充実 ・届け出登録者数146名</p> <p>c 相談件数、再就業率のアップ ・事業の成果の可視化とデータの活用</p> <p>d 「山形方式・看護師等生涯サポートプログラム」の目標達成</p> <p>a 施設訪問による求人登録の増加対策(地域相談員の活用) ・地域相談員による求人施設訪問 11月～施設</p> <p>b 第6次NCCSシステムの周知と普及活動</p> <p>c ハローワークとの連携継続の強化 ・定期的な連携会議の開催 月1回施行</p> <p>d 相談件数、再就業率のアップ 令和元年度相談件数 9125名 再就職者数321名(1月末現在) 令和元年度HW就職・自己就職・NC就職(全体)再就職率48.8% NCのみの再就職率 29.4% ・事業の成果の可視化とデータの活用</p> <p>e 県内各地域でUターンによる就業相談 ・就業相談の多いハローワークでの周知と広報</p> <p>f 離職者の実態調査とデータの活用 平成31年3月末で退職者334名中) アンケート回収265名(回収率79.3%) 今年度は離職者の実態調査票を地域相談員等により施設に配布</p> <p>g 首都圏Uターン・Iターンフェア やまがた暮らし等相談会参加 相談者5組8名</p> <p>h 都道府県ナースセンター地区別意見交換会への参加(北海道) 9月20日職員2名</p>
<p>③看護業務啓発促進事業</p>	<p><u>いのちの教育推進委員会、4支部、訪問看護ステーション、事務局</u></p> <p>a 「ふれあい看護体験」の実施(5月7日～5月21日) 参加施設78施設 参加者384名</p> <p>b 「看護への道」進路相談の開催</p> <p>c 「看護の出前講座」の実施(通年で実施):35校(43講座)計4,040名</p> <p>d 「看護の日」「夏まつり」のイベント 「健康まつり」5月18日(土)開催 参加者333名 県、県栄養士会、日精看山形県支部、県理学療法士会、 県薬剤師会、歯科専門学校、事務局の共催で開催</p>

<p>④潜在看護師掘り起こし事業</p> <p>⑤ナースセンター利用促進事業</p> <p>⑥ナースセンターの運営に関すること</p> <p>⑦行政、関係機関との連携強化</p>	<p>事業課、ナースセンター (④～⑧は同じ)</p> <p>事業課、ナースセンター (④～⑧は同じ)</p> <p>潜在看護師等復職研修受講修了者 2名内就業者2名 3月2名研修予定したが感染対策のため中止</p> <p>a マスコミ等のメディアを活用したナースセンター登録に関する情報発信</p> <p>b ナースセンター登録者への情報発信と復職相談への対応 LINE@の開設と利用促進 登録者数 68名 2～3回/月情報発信</p> <p>c ナースカフェ(eナースセンター・届出登録者の交流の場)の開催 ・看護技術セミナーと同時開催(5回)27名参加(再掲)</p> <p>d プラチナナース研修会の開催(3月14日開催予定)新型コロナウイルス感染予防対策のため中止</p> <p>a 県内8ヵ所のハローワークでの看護の仕事相談会の開催 8ヶ所月1回実施 205件</p> <p>b 「マザーズジョブサポート山形」、「マザーズジョブサポート庄内」での就業相談会の開催 月1回実施 マザーズジョブサポート2ヶ所 40件(H30年73件)</p> <p>c 地域相談員によるハローワークでの相談強化</p> <p>d ハローワークやまがたとの連携強化 ケース会議月1回実施 ・ハローワークやまがたとの連携事業実施 総数 89名</p> <p>e 施設訪問によるナースセンター事業の周知活動と利用促進 ・福祉施設等 18施設訪問(再掲)</p> <p>a ナースセンター運営会議の開催(年1回)10月24日(木)実施</p> <p>b 事業報告書の作成</p> <p>c ナースセンターだよりの発行 3回 ・求人情報発行2回</p> <p>a 山形県健康福祉部地域医療対策課との連携 「山形方式・看護師等生涯サポートプログラム」の目標達成 平成30年度からの取り組みの検討</p> <p>b 「医療勤務環境改善支援センター」との連携 ・医療職のWLB推進ワークショップ参加施設の支援依頼 ・「医療職のWLB推進ワークショップ」開催の協働 参加者86名</p> <p>c 山形労働局との協体制の構築 ・連携によるハローワークでの「看護相談会」の利用者拡大、就業支援の強化 ・「医療労務管理相談コーナー」活用の周知 ・「WECやまがた」への参加 会議開催6回 ・「福祉のしごとフェア」ナースセンターブース設置(面談者6名) ・令和元年度第1回人材確保対策推進協議会(福祉分野)、 ・第1回介護労働懇談会、 ・第1回山形県介護職員サポートプログラム推進会議合同会議出席</p>
<p>(3) 看護職の健康増進</p> <p>①看護職のメンタルサポート</p>	<p>ナースセンター</p> <p>a 相談窓口の周知・広報</p> <p>b 実績評価相談相手</p> <p>c 相談員のスキルアップ 山形労働局オール助成金説明会 2会場3名参加 山形労働局研修会「ハラスメント対策等説明会」 3会場5名参加</p>
<p>(4) 「看護職賠償責任保険制度」の普及</p> <p>①会員への「看護職賠償責任保険制度」の周知</p>	<p>総務課</p> <p>a 加入の促進</p>

2) 県民の健康・福祉の増進に関する事業【重・6】	「まちの保健室」推進委員会、支部、事業課、協会訪問看護ステーション
(1) 県民の健康づくり支援	a 「まちの保健室」推進委員会活動の推進
① 県民への相談事業「まちの保健室」の開催	b 支部常任委員会「まちの保健室」運営委員会との連携 ・合同委員会の開催(2回) 1回目8月21日、2回目12月4日開催
	c 「まちの保健室」開催要綱、運営マニュアルの見直し
	d ボランティア運用要綱の周知と登録者拡大
	e ボランティア登録者の継続確認
	f ボランティア育成研修の開催 11月1日開催 参加者35名
	g 支部の「まちの保健室」の常設化の検討
	地域住民を対象とした常設型「まちの保健室」の開催
	h 子どもと子育て世代を対象とした「まちの保健室」開催 山形支部による常設型「まちの保健室」開催
	i 他の団体、事業所からの依頼の「まちの保健室」開催への対応 山形新聞・山形放送8大事業 県民健康講座での「まちの保健室」 開催
	山形市(5月9日)、鶴岡市(7月11日)、米沢市(11月7日)開催
	運営員 13名
	10月19日・20日「やまがた健康フェア」の「まちの保健室」 参加者639名
	j 関連団体との共催
	「まちの保健室」連絡協議会の開催
② 看護に関するイベント事業	事務局・支部・協会訪問看護ステーション
	a 「看護の日」健康まつり(再掲)
	b 「夏まつり」(再掲)
③ 医療安全フォーラム	医療・看護安全対策委員会・教育研修課
	a 「医療安全やまがたフォーラム」の運営(再掲)11月16日 参加者162名
④ 次世代育成支援事業	事業課
	a やまがたママの安心ナビゲーションメール相談事業(山形県委託) 8月からサイト名が「やまがた子育て応援サイト」に変更となる 相談件数14件
	いのちの教育推進委員会・事業課
	b いのちの教育・性の健康教育講師派遣 35校(43講座) 参加学生等 4,040名(再掲)
	c いのちの教育・性の健康教育実践者の育成 ・いのちの教育・性の健康に関する研修の開催 9月7日(土) 参加者 16名 11月9日(土) 参加者 18名
	・いのちの教育・性の健康教育実施の手引きの活用
	d 性の健康支援ネットワーク会員登録者の増員 新規入会5名(登録者55名)
	e 山形市男女共同参画推進担当との連携
⑤ 電話相談事業	会長・常任理事
	a 健康相談
	b 自殺対策
	c 青少年関係
⑥ 県民及び看護職の禁煙推進活動【重・2】	禁煙推進委員・支部
	a 山形県四師会と共催による禁煙活動事業の開催 ・すこやか2019 禁煙推進ステージ 6月30日(日) ・禁煙推進出前講座 2校に看護職の講師派遣 ・禁煙学会市民公開講座の運営 11月4日(月)市民参加者206名(再掲)
	b 関係機関との連携
	c 受動喫煙防止宣言の普及
	d 「禁煙支援」研修の開催 6月1日(土)参加者52名(再掲)
	e 「2017年度看護職とたばこ実態調査」の報告(3回目)
	f 第13回日本禁煙学会を共催団体として運営 11月3～4日 スタッフ延べ31名(再掲)

<p>(2) 災害支援体制の整備</p> <p>①山形県看護協会災害支援体制の整備・周知</p> <p>②災害支援ナース育成の強化</p> <p>③看護職の災害看護の意識高揚</p> <p>④県民に対する防災意識の啓発</p> <p>⑤災害看護支援体制のネットワークづくり</p>	<p>災害看護対策委員会・事務局 (①～⑤は同じ)</p> <p>a 災害支援活動要綱の見直し・検討</p> <p>b 災害支援体制の周知</p> <p>c 災害支援物資の備蓄と管理</p> <p>a 災害看護対策委員のスキルアップ ・山形県公衆衛生学会での発表</p> <p>b 支援ナースのスキルアップ研修の開催 10月9日・10日 災害看護実務編28名 11月14日 災害フォローアップ21名受講</p> <p>c 支援ナース連絡体制の模擬訓練の実施</p> <p>d 山形県合同防災訓練 (山形市) への参加 8月31日 支援ナース26名参加</p> <p>a 看護管理者対象の災害対策研修の開催 (2日間) 8月26日～27日 延91名</p> <p>b 災害看護の基礎知識の普及 5月21日～22日 参加者延81名受講 ・対面式研修の企画と運営</p> <p>c 支援ナース登録者の拡大 災害支援ナース89名 新規登録者12名</p> <p>d 「山形県看護学会」で災害支援活動や支援ナースPR展示</p> <p>a 「健康まつり」での災害時の対応のパンフレットを展示</p> <p>a 日本看護協会との連携 ・災害看護対策担当者会議への出席 9月1日 2名出席 ・災害支援ナース合同派遣訓練への参加 (11月5日～7日は災害派遣のため不参加)</p> <p>b 宮城県丸森町で災害支援ナースによる災害派遣活動を実施 10月22日～11月30日の40日間、26名の災害支援ナースを派遣</p> <p>c 県内医療関係団体連携による支援活動の検討</p> <p>d 行政等との連携 ・関連会議・研修会への出席 ・山形県・山形市合同総合防災訓練への参画 8月21日 県・山形市合同総合防災訓練合同会議 災害看護対策委員長・副委員長、事務局から計3名出席 8月31日 合同総合防災訓練 災害支援ナース26名、事務局4名参加 ・山形市防災訓練への参加</p>
<p>(3) 東日本大震災支援活動</p> <p>①被災看護職への支援</p> <p>②県内避難者の子育て支援</p> <p>③県内避難者の心のケア事業 (福島県委託事業)</p> <p>④県内避難者支援ネットワーク関連</p>	<p>事務局 (①～⑥は同じ)</p> <p>a 研修受講の受け入れ</p> <p>b 避難地域の就業支援</p> <p>c 県内避難の看護職の会館積立金免除</p> <p>a 県内避難者の子育てに関するメール相談の受入 (県委託事業)</p> <p>a 山形市、米沢市における「まちの保健室」の開催 (月1回) 2月まで毎月実施、3月は感染対策にて中止</p> <p>b 各市町村避難者支援担当と連携した「まちの保健室」の開催 天童市・南陽市で「まちの保健室」開催</p> <p>c 各市町村の避難者支援担当者と連携し、戸別訪問につなげる</p> <p>d 支援者の情報交換・懇談会の開催 11月1日予定したが中止</p> <p>e 支援者のスキルアップ、研修会の開催 11月1日開催</p> <p>f 支援者へのメールマガジンなどの避難情報の定期発信 毎月実施</p> <p>a 県内避難者支援ネットワーク会議とイベントへの参加 「今後の暮らし相談会」での「まちの保健室」開催 (山形・米沢) 東日本大震災追悼・復興祈念事業 (キャンドルナイト) 感染対策にて中止</p> <p>b 避難者支援相談員連絡協議会への出席 3回出席 (1回は感染対策にて中止)</p> <p>c 行政、関係団体との連携</p>

5. 在宅看護の推進等の取り組みを通して公衆衛生の向上を図る事業

事業内容	事業実施報告
<p>1) 協会訪問看護ステーション・居宅介護支援事業【重・1】</p> <p>(1) 協会訪問看護ステーション事業の健全経営</p> <p>①協会訪問看護ステーションの経営基盤の強化</p> <p>②4つの協会訪問看護ステーションの運営の組織づくり</p> <p>③業務の効率化と看護の質向上の推進</p>	<p>協会訪問看護ステーション、在宅推進担当、管理運営会議</p> <p>a 協会訪問看護ステーション運営会議の定期開催（10回）</p> <p>b 経営的視点に立った訪問看護ステーションの運営</p> <ul style="list-style-type: none"> ・業務、実績の見える化と評価(管理者・職員) ・地域住民への訪問看護実践のPR <p>c 円滑な運営のための管理者のマネジメント力の向上</p> <ul style="list-style-type: none"> ・訪問看護ステーション管理者研修の受講（所長主任参加）16名 ・所長会議での経営に関する情報交換 外部アドバイザーからの支援 <p>d 公益事業の強化と地域密着事業の展開</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域のニーズに合わせた活動の充実 ・多職種連携の推進 ・訪問看護ステーション新庄のサテライトまむろ川安定的経営ネットワーク会議2回 事例検討3例 ・「看取り研修」への講師派遣 ・「訪問看護相談窓口」の設置（山形県委託） <p>e 機能強化型訪問看護ステーション（ⅠⅡ）の役割発揮</p> <ul style="list-style-type: none"> ・訪問看護ステーションやまがた・むらやまの強化 ・訪問看護ステーション機能強化型Ⅲに向けた取り組み(まいづる) <p>f 計画的な人材育成の仕組みづくり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・看護ラダー（訪問看護編）整備活用（全職員ラダーⅠを実施） <p>g 理事会への事業運営の報告（9回）</p> <p>協会訪問看護ステーション、在宅推進担当（②～③は同じ）</p> <p>a 所長会議の開催（月1回）12回開催</p> <p>b 各種委員会活動の活性化</p> <p>c 諸規程や行動規範の周知徹底</p> <p>d 目標管理の定着化 年2回 所長による面接</p> <p>e 職場の雰囲気づくり 5S運動の展開 各ステーション毎実施</p> <p>f 人事交流</p> <p>a 研修の企画と充実</p> <p>b 訪問看護eラーニング受講（2名受講）OJTシートの活用</p> <p>c 安全管理の強化（医療安全の研修会8日間受講）1名受講職員に復命</p> <p>d 利用者の満足度調査による他者評価の実施 10月に実施 改善対応</p>
<p>(2) 協会居宅介護支援事業の充実（3か所）（事務職員の専従化）</p> <p>①安定した事業経営、基盤の強化</p> <p>②質の高いケアマネジメントの提供</p> <p>③関係機関、関係職種との連携強化</p>	<p>協会居宅支援事業所、在宅推進担当（①～③は同じ）</p> <p>a 居宅介護支援事業所連絡会議の開催（年2回程度）</p> <p>10月10日 2月12日</p> <p>b 経営的視点に立った居宅介護支援事業所の運営</p> <ul style="list-style-type: none"> ・居宅介護支援特定事業所Ⅲとしての役割発揮 ・現状分析による課題検討 運営会議で検討 ・平成31年度特定事業所Ⅳ目指しての検討 <p>c 市の認定調査委託契約の継続</p> <p>a 積極的なスキルアップ</p> <p>b 事業所間での事例検討会、勉強会の開催</p> <p>c 他の事業所との情報交換</p> <p>a 関係機関との会議、研修会への積極的参加</p> <p>b 山形県介護専門員協会との連携 講師として協力 参加</p> <p>c 認知症カフェの支援</p> <p>d ポピーネットやまがたへ参画しMCS活用した多職種連携強化</p>
<p>(3) 県内の訪問看護の拠点としての「訪問看護会館」の積極的な活用</p> <p>①山形県訪問看護ステーション連絡協議会との連携</p> <p>②「訪問看護会館」の貸出による地域貢献の拡大</p>	<p>管理運営会議、在宅推進担当、協会訪問看護ステーション（①～②は同じ）</p> <p>a 山形県訪問看護ステーション連絡協議会事務局の設置</p> <p>b 事務局業務のサポート</p> <p>c 県民への訪問看護のPR</p> <p>a 「訪問看護会館」の積極的な活用による県内の訪問看護師の資質向上やネットワーク構築の機会の拡大</p>

<p>2) 在宅ケア等に関する事業【重・1】</p> <p>(1) 地域包括ケアシステムの推進</p> <p>①地域包括ケアにおける看護職の役割・機能の周知・普及</p>	<p>在宅ケア推進委員会、保健師職能委員会、助産師職能委員会、看護師職能委員会Ⅰ、看護師職能委員会Ⅱ、4支部、事業課</p> <p>a 地域包括ケアシステム構築推進の取り組み</p> <ul style="list-style-type: none"> ・研修会の開催 10月26日「看看連携で考える高齢者の救急搬送」開催 受講者92名 ・退院支援・地域連携の推進 山形県在宅医療連携情報誌の作成とホームページの更新 ・県内病院看護管理者懇談会の開催 <p>b 保健師、助産師、看護師職能Ⅰ、看護師職能Ⅱ、在宅ケア推進委員会の連携</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域包括ケアシステムにおける看護の役割 地域につなぐ看護研修 ・地域と施設の看護職のネットワーク構築 <p>c 支部活動の活性化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・合同委員会時の支部長会への副支部長の出席 7月6日・1月25日 ・支部長の地域の在宅医療推進協議会（地域医療構想調整会議）への出席と発言（オブザーバーとの連携） ・支部長等東北ブロック会議 ・地域の会議内容の共有と意見交換 <p>d 地域における看護管理者のネットワーク構築</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「地域の看護力強化支援事業」の実施（6か所実施） ・地域単位での多職種連携の強化 <p>e 母子のための安心安全な地域ケアの推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・医療的ケア児等の体制整備等の会議出席 協議会1回 専門部会2回 ・医療的ケア児等の研修会の開催 7月21日(53名) 7月8日(46名)
<p>(2) 訪問看護サービスの普及と質の向上</p> <p>①訪問看護の普及活動</p> <p>②訪問看護サービスの質の向上</p> <p>③山形県訪問看護ステーション連絡協議会との連携強化</p> <p>④訪問看護サービス事業所支援事業（山形県委託）</p> <p>⑤訪問看護担い手創出事業の展開</p>	<p>在宅ケア推進委員会、協会訪問看護ステーション、在宅推進担当</p> <p>a 県民に向けたPR活動</p> <p>b 訪問看護普及のための連携の強化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・パンフレット活用によるPR ケアマネージャーとの連携 <p>c 看護学生に向けたPR活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・職場説明会4月27日59名・フレッシュ説明会7月27日46名 ・看護学校訪問5校（合計223名） <p>d 他の職種へのPRと連携</p> <p>e 「まちの保健室」を活用したPR活動（健康フェア等）</p> <p>f 山形県内の関連会議への出席</p> <p>g 山形県訪問看護ステーション連絡協議会との連携</p> <p>訪問看護ステーション、事業課</p> <p>a 訪問看護師養成研修の開催（県委託）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・eラーニング活用による研修 受講者数23名 全員が修了 ・集合研修の公開 公開講座 4コース開催 計204名受講 <p>在宅ケア推進委員会、看護師職能委員会Ⅱ、訪問看護ステーション、在宅医療担当、教育研修課</p> <p>b 研修会の開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・訪問看護ステーション管理者研修 2回シリーズ <p>d 訪問看護師への教育計画の周知と研修受講の推進</p> <p>e 蔵王会在宅医療・看護教育センター事業への協力</p> <p>f 訪問看護サミットへの参加 12月6日 横浜で開催</p> <p>g 行政との連携 委託事業の評価 新規事業について</p> <p>訪問看護ステーション、在宅推進担当、事務局</p> <p>a 訪問会館に事務局の設置とサポート</p> <p>b 総会・研修開催等への協力</p> <p>c 地区ブロック内ネットワークの推進</p> <p>ブロック会議4回 技術研修会開催4回</p> <p>協会訪問看護ステーション、在宅推進担当、事務局</p> <p>a 訪問看護総合相談窓口</p> <p>電話：162件 面接：39件 メール：5件 合計206件</p> <p>b 管理者研修と経営安定化対策 経営安定化研修は中止</p> <p>c 各地域の訪問看護ステーションの連携強化</p> <p>d 小児医療・フィジカルアセスメント等の技術向上研修会の開催</p> <p>e 訪問看護普及啓発事業</p> <p>a 病院看護師等のステーション出向へコーディネート及び支援</p> <p>3件3名出向</p> <p>b 病院と訪問看護ステーションとの連携強化</p> <p>病院看護師在宅実習29名</p> <p>c 出向ガイドラインの活用 ノウハウ提供及び成果の周知</p> <p>7月16日3名発表</p> <p>d 行政との連携</p>

6. 施設の貸与に関する事業

事業内容	事業実施報告
1) 施設運営に関する事業 (1) 施設の賃貸運営 ①会館、研修センターの賃貸契約及び貸出 ②駐車場の貸出 ③「訪問看護会館」の貸出	総務課 (①～②は同じ) a 事務所としての賃貸契約先 ・日本精神科看護協会山形県支部 b 研修室の外部貸出 14事業所 44回 c 自動販売機設置2・3階 a 看護協会駐車場の貸出 1事業所 1回 訪問看護ステーションやまがた、在宅推進担当、総務課 a 研修室、会議室の積極的な貸出

7. その他、本会の目的を達成するために必要な事業

事業内容	事業実施報告
1) 組織に関する事業【重・5】 (1) 協会組織の強化 ①公益社団法人の円滑な運営 ②協会事業組織の検討 ③会員拡大対策の強化 ③支部活動の活性化 (2) 会員意識の高揚と会員拡大 ①会員拡大への働きかけ	理事会・管理運営会議・事務局 (①～③は同じ) a 定款の遵守 a 委員会の見直し b 各種パンフレットの見直し・作成と活用 c 事務局の役割強化 d 各種パンフレットの見直し・作成と活用 会員拡大対策委員会、理事会・管理運営会議・事務局 a 会員拡大対策委員会の活動基盤づくり b 新「会員情報管理体制」の周知とスムーズな手続きへの誘導 c 日看協「看護政策のための組織強化事業」による会員拡大の促進 5月30日：准看護師研修及び交流会開催 参加者32名 8月29日：新人保健師交流会開催 参加者14名 11月8日(置賜支部) 11月27日(山形支部) 11月28日(庄内支部) 12月16日(最北支部)：新人看護職交流会開催 参加者178名 d 協会事業のPRによる会員拡大 会員拡大推進員作成のDVD活用によるPR活動 新人看護職交流会にて合計4回実施 e 各職能委員会による会員拡大の呼びかけ f 施設訪問による会員拡大の呼びかけ 理事会・管理運営会議・事務局 a 支部運営の強化 ・支部担当執行理事のサポート体制構築 ・支部規則、本協会との確認事項の周知と徹底 合同委員会で確認 ・支部活動の効率化 支部活動計画書・報告書の改正 ・地域密着の活動推進 b 支部長・副支部長会議の開催 合同委員会とともに2回開催 ・支部運営の情報交換 ・副支部長の参加(合同委員会時) c 支部長の地域内会議への出席 ・会議内容の共有 理事会等での復命の実施 d 地域内の看護職ネットワーク構築 ・看護管理者会議、職能間の連携会議等 ・看護管理者懇談会の開催と支部長の出席 e 「教育委員会」の企画による研修会の開催 f 「まちの保健室」運営委員会の企画による「まちの保健室」の開催 ・常任委員会「まちの保健室」推進委員会との連携 ・開催要項、運営マニュアルの活用と見直し ・ボランティアの育成と活用 ・常設化に向けた検討の推進 g 日本看護協会通常総会への一般参加者派遣 ・参加報告の共有 事務局 (①～③は同じ) a 新「会員情報管理体制」の周知とスムーズな手続きへの誘導 b 施設未加入者への働きかけ (パンフレット・入会案内チラシの活用及び送付) c 事業案内パンフレット(日本看護協会より送付)・教育計画等の送付 d ホームページでの広報

<p>②看護学生への働きかけ</p> <p>③新会員情報管理システム（ナースシップ）の運用</p>	<p>a 看護教育機関への働きかけ(パンフレットの活用及び送付)</p> <p>b 職能団体活動の講話等（6校で実施予定）</p> <p>c 入学式、戴帽式（祝電） 入学式：出席・祝電8校 戴帽式：出席・祝電1校</p> <p>d 卒業式等への出席 卒業式：1校出席 他、新型コロナ感染対策にて縮小実施のため出席中止</p> <p>a 日本看護協会との契約締結・維持</p> <p>b 会員登録システム変更の周知</p> <p>c ナースシップシステムによる会員管理</p> <p>d 退会届の周知</p>
<p>2) 組織の運営に関する事業</p> <p>(1) 組織運営の円滑化</p> <p>①総会開催</p> <p>②役員等の推薦</p> <p>(2) 組織運営に関する会議</p> <p>①総会</p> <p>②理事会</p> <p>③職能・常任・認定看護管理者教育課程教育運営委員会及び支部長会との合同委員会</p> <p>④各職能・常任・認定看護管理者教育運営委員会</p> <p>(3) 日本看護協会との連携</p> <p>①日本看護協会通常総会・全国職能別集会</p> <p>②日本看護協会理事会</p> <p>③法人会員会</p> <p>④都道府県看護協会職能委員長会</p> <p>⑤地区別法人会及び職能委員長会</p> <p>⑥看護サミット 訪問看護サミット</p> <p>⑦都道府県看護協会看護労働担当者会議</p> <p>⑧都道府県看護協会事務担当者会議</p> <p>⑨都道府県看護協会広報担当役員会議</p> <p>⑩都道府県ナースセンター担当者会議</p> <p>⑪新会員情報管理体制（ナースシップ）担当者会議</p> <p>⑫訪問看護連絡協議会全国会議</p> <p>⑬都道府県看護協会教育担当者会議</p> <p>⑭都道府県看護協会災害看護担当者会議</p> <p>⑮都全国准看護師制度担当役員会議</p> <p>⑯その他</p> <p>(4) 他団体との連携</p>	<p>理事会・管理運営会議・選挙管理委員会・事務局</p> <p>a 総会運営規則に則った総会運営</p> <p>b 総会要綱作成 1400部（増刷350部）</p> <p>c 選挙規則に則った役員改選</p> <p>推薦委員会</p> <p>a 改選役員等候補者の推薦 委員会を4回開催</p> <p>理事会・管理運営会議・事務局（①～④は同じ）</p> <p>a 年1回</p> <p>a 理事会 9回開催（うち書面理事会1回）</p> <p>a 年2回（7月・1月） 第1回：7月5日（金）開催 第2回：1月25日（土）開催</p> <p>・活動計画と実施評価の徹底</p> <p>・活動状況の共有</p> <p>a 諮問審議事項の提示と活動支援</p> <p>管理運営会議・事務局（①～⑯は同じ）</p> <p>a 6月6・7日 代議員8名派遣 <函館市></p> <p>b 各支部・事務局職員の一般参加への支援</p> <p>a 年6回 会長出席 6回（5月10日、6月6日・7日、7月25日・26日、9月27日、11月29日、2月20日・21日）</p> <p>a 年1回以上 会長出席 9月27日（金）開催</p> <p>a 全国職能委員長会 8月21日 4職能委員長参加</p> <p>a 10月10・11日（秋田県看護協会担当） 会長・常任理事1名・3職能委員長が出席</p> <p>a 12月6日 会長・常任理事2名出席（横浜）</p> <p>a 5月22日 常任理事1名・ナースセンター課長出席</p> <p>a 10月21日 北海道・東北ブロック 第1回日本看護協会公益法人運営に関する地区別勉強会</p> <p>a 2月28日 常任理事1名・総務課長補佐出席</p> <p>a 5月23日 常任理事1名・ナースセンター課長出席</p> <p>a 11月13日 総務課長補佐・総務課担当出席</p> <p>a 2月14日 会長・常任理事1名出席 訪問看護支援センターの情報交換</p> <p>a 9月12日 常任理事1名・事業課長出席</p> <p>a 9月12日 常任理事1名・事業課長出席</p> <p>a 9月9日（月）開催予定→台風の影響を鑑み中止 ・訪問看護サミット2019（横浜）（12月6日）会長・常任理事2名出席 ・北海道・東北地区看護協会長連絡協議会 9月2日（月）宮城県看護協会担当 会長出席 ・日本看護学会運営会議（12月20日） ・2020年度日本看護学会学術集会開催府県打ち合わせ会 5月15日 会長・常任理事1名出席 ・都道府県ナースセンター就業相談員研修 5月24日 ナースセンター職員2名出席 ・公益法人運営に関する地区別勉強会（山形県担当） 10月21日 事務局長・看護協会・訪問看護ステーション事務担当者出席</p> <p>管理運営会議・事務局</p>
<p>3) 広報活動に関する事業【重・7】</p> <p>(1) 県民、看護職及び会員への情報提供の充実</p> <p>①ホームページによる情報提供</p> <p>②広報誌「山形いぶき」の編集と発行</p> <p>③行政、関係団体と連携した広報活動</p> <p>④日本看護協会ニュースの活用</p>	<p>広報委員会、事務局（①～④は同じ）</p> <p>a 看護関連情報及び看護協会の事業計画・活動状況の更新</p> <p>a 年4回発行（5月号7,700部、7・11・1月号8,600部）</p> <p>b マスコミ関係、公立図書館等への送付</p> <p>a 記者クラブへの投げ込み、ニュースリリースの発行</p> <p>b 県長寿社会政策課への介護福祉関係施設に対する情報発信の協力依頼</p> <p>c 山形県老人保健施設協会、山形県老人福祉施設協議会との連携</p> <p>a 日本看護協会より毎月15日発行</p> <p>b 日本看護協会へナースシップシステムでデータ変更</p>

<p>4) 会館管理・運営に関する事業</p> <p>(1) 会館管理・運営に関する事項</p> <p>①資金計画の円滑な運用</p> <p>②会館管理の運営</p> <p>③機器類の管理</p>	<p>事務局 (①～③は同じ)</p> <p>a 会館維持管理費の適正運用</p> <p>b 長期資金計画の見直し検討</p> <p>a 建物・駐車場の維持管理</p> <p>b 施設利用状況把握</p> <p>c 使用規程に関する検討</p> <p>a 機器及び諸設備の整備・保守</p> <p>b 機器類の貸出</p>
<p>(2) 施設の整備・保守・管理</p> <p>①施設の維持管理</p> <p>②「訪問看護会館」の維持管理</p>	<p>総務課</p> <p>a 法定保守点検</p> <p>ア 電気設備 (毎月)</p> <p>イ 火災報知機 (年2回)</p> <p>ウ エレベーター (毎月)</p> <p>b 任意保守点検</p> <p>ア 空調機</p> <p>イ 自動ドア</p> <p>ウ AV機器</p> <p>c 業務委託関係</p> <p>ア 警備保障</p> <p>イ 緑地帯の維持管理</p> <p>ウ 館内外清掃</p> <p>エ 駐車場除雪 (冬季必要時)</p> <p>オ 会計管理 (消費税、法人税等の税務処理)</p> <p>総務課</p> <p>a 具体的な計画策定と実施</p>
<p>(3) 防災意識等の高揚</p> <p>①山形県看護協会での防災訓練等</p>	<p>事務局</p> <p>a 3月23日 AEDを含む訓練実施</p>
<p>(4) 関係団体との連携</p> <p>①アルカディアソフトパーク山形クラブとの連携</p>	<p>事務局 (①～②は同じ)</p> <p>a アルカディアソフトパーク内の一斉清掃、樹木の消毒、清掃年2回、消毒年1回 その他親睦会等開催</p>
<p>5) 渉外活動に関する事業</p> <p>(1) 看護についての諸問題の解決</p> <p>①国・山形県等への陳情</p> <p>②山形県看護連盟との連携</p>	<p>理事会・管理運営会議・事務局 (①～②は同じ)</p> <p>a 政策、要望等の陳情 (看護関係予算、看護教育、継続教育の充実、看護職員の増員、看護制度等)</p> <p>a 合同会議の検討</p> <p>b 合同研修会の企画と実施 2回開催</p>
<p>(2) 関係機関との協力と連携</p> <p>①関係機関・団体への参画</p> <p>②行政への働きかけ</p>	<p>理事会・管理運営会議・事務局 (①～②は同じ)</p> <p>a 関係機関・団体等との連携、参加、名義後援</p> <p>b 山形県健康福祉部との業務推進懇談会(再掲)</p> <p>c 山形県四師会との連携</p> <p>d 諸会議への参加</p> <p>e 諸施策審議会への参加</p> <p>a 要望書の提出</p>
<p>6) 会員の相互扶助に関する事項</p> <p>(1) 会員の福利厚生への推進</p> <p>①会員の福利厚生へのPR</p>	<p>理事会・管理運営会議・事務局</p> <p>a 表彰候補者の推薦並びに表彰</p> <p>ア 日本看護協会長表彰候補者推薦のための調査と推薦</p> <p>イ 山形県看護協会看護功労者表彰及び感謝状贈呈候補者推薦</p> <p>b 規定による会員への見舞い</p> <p>ア 災害見舞、慶弔見舞 弔意：旧会員2名 アルカディアソフトパーク山形クラブ1名</p> <p>c 家庭常備薬の斡旋</p>